

海岸へ山へのひびく音波

発行所 青屋市精道町93
青屋市役所
発行人 清六
編集人 山村 康一
印刷所オール出版定価2円
毎月1回5日発行

理想都市まであと10年

内海市長 中学生の問い合わせに答える

九月二十六日の午後、精道、山手西中学校の新聞部員六名は新市長會に内海市長を訪ね、三選直後の市長の意見込みを聞き、青屋を理想都市に発展させる構想をいろいろ聞きました。

きく人 山手中学校三年
大槻維宏君、山川厚子さん
二年 福田徹君
精道中学校三年 川野志津子さん、一年 福田三千
男君、内藤雅子さん
答える人 内海市長
司会 市庁報統計係

海岸埋立二百万平方メートル

大槻(山中) まず海の方からお

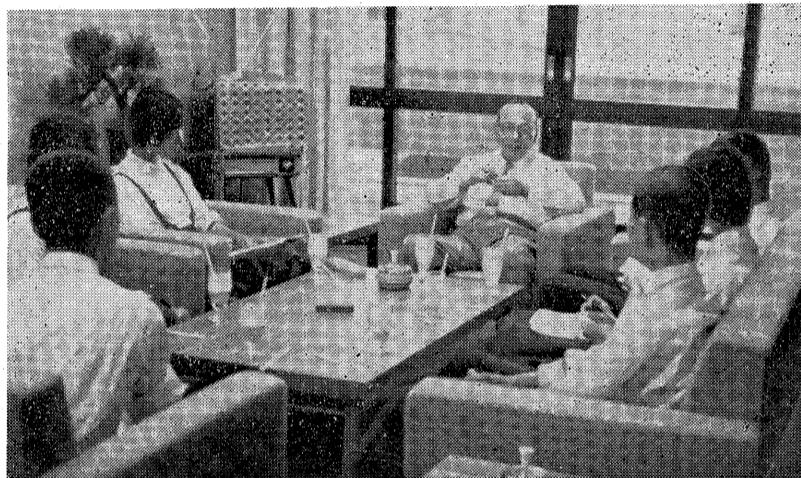
伺います。恐らく五年ないし十年計画はもうなっているのでしょうか。

市長 これは放つておけない大きな問題です。神戸、西宮が埋立てを始めた場合、他の市の領域になってしまいます。また、暴風雨の時に立たない場合は、海岸埋立の計画はもうなっています。

大槻(山中) 埋め立て用の土はも埋め立ておれば、災害防止に役立ちます。計画の三百万平方メートルほどを埋め立てるには費用が二三百億円かかるでしょう。そこには、将来高層アパート住宅、大学、スポーツセンター等を造り、芦屋の中でも異色ある地域にしたいと思っています。それからまた下水処理場、ブルなども外には大きな船がとまる港も

ます。まあ、本当に満足できる施設が整うのは十年くらい先になる

ですが、表現できるかどうか、また財源の段取りを今考えていると



第二国道の横断路は交渉中

大槻(山中) まず海岸埋立の計画は、海岸埋立ての意見込みであります。市長は若い中学生の立場から、昔の将来について疑問をお持ちだと思います。

司会 内海市長が再び当選して新しい青屋をつくるためにいろいろの構想をねっています。みなさんは若い中学生の立場から、昔の将来について疑問をお持ちだと思います。

大槻(山中) と思いますので、遠慮なく、市長に質問してください。

大槻(山中)

ども。

大槻(山中)

勝手はだいぶ変わったが

正しく使いましょ

改式後の電話あれこれ

待望久しかつた音屋局の設備拡充工事は、みなさんのご協力で

さる八月二十八日無事切替えを完了しましたが、切替に伴なつた改

正点をじゅうぶんご存知ない方も

了しましたが、切替に伴なつた改

正点をじゅうぶんご存知ない方も



電話改式披露式(精道小講堂)

電話は生かして使いまじょう
話が終つたのに電話器をかけ忘れたり、電話器を浮き上つていてもなります。電話機は安定したもの上に置きましょう。

天気予報(99)や時報(11)までは電報をうつとき(15)等の特

殊算を除いては、最初にからず(2)をダイヤルしてください。

電話番号をたしかめましょう

天気予報(99)や時報(11)ま

は月分を翌月に請求すること

になつていますから、10月に8月

28日から9月28日までの度数料を請求します。

度数に応じ料金をいただく制度)に変わり、基本料の月額は次のよ

うになりました。

種 別 事務用 住宅用

単独電話 800円 700円

秘話共同電話 500円 400円

構内交換加入回線 300円

(8月28日から月末までの基本料

差額は9月分、差引きし、8月31

日まで新たに架設された方の基

本料は割り、9月分に合算しまし

た)

度数料がつきます。

市内通話: 一回7円、各電話番

号ごとに設備された度数料によつて自動的に通話回数が記録されま

す。

自動音外通話(ダイヤル)直接

つながる市外通話: ……市外通話

先に応じ所定の通話料を通話数

(三分ひと)に従つて自動的に登

算されます。この市外通話は市内

通話と合算されますので、両者の内

容から度数制(基本料の上に、通話

設備切替)と同時に從来の定額

基本料が変わりました。

あるようですが、二、三注意

申し上げます。

市内通話: 一回7円、各電話番

号ごとに設備された度数料によつて自動的に通話回数が記録されま

す。

市内通話: 一回7円、各電話番

号ごとに設備された度数料によつて自動的に通話回数が記録されま

す。

阪神上水道

阪神上水道の2工事

古代芦屋の解明へ

よくやった山手中歴史研究部



古代住居のカヤをふく歴史研究部員

古代芦屋の解明へ

よくやった山手中歴史研究部

三条町山手中

裏山の兵庫県

史跡奈下山跡

生式遺跡の調査

査)いままでに計八カ所

の住居址と二

力所の墓場が

最も身近かな所に発見されたこの

強風の下に二千年間埋蔵された

生きた教材を取り組み、大学、高

校の研究グループに加わって、統

卒された行動と共に、奈良下ま

だちの手で植えつけられたへ

豊かな休み中の経験もとり入れ

この頃はすっかり元気になり、

家庭では味わうことのできない友

どももみられた。

しかし、それ等の子どもたちも

だちの樂しい雰囲気の中で、

遊びが活発に展開されている。

子どもたちの成長と共に、子ど

もたちの手で植えつけられたへ

たま、も成長し、四方八方に

たしたちのへてしまふ。子どもたちは

日々に大きくなつていくべきま

る。「二つのへてしまふ」、「ほくわ

くま」も成長し、四方八方に

たしたちのへてしまふ。子どもたちは

日々に大きくなつていくべきま

る。この「へてしまふ」は八十八

夜に庭にいるのと同様をした

その時に植えつけたもの。テラス

の隅にわざわざ用意して下

ほんとうに大きいやつである。

「へてしまふ」は、何年か前に

おもろいから家中揃つてこ

んな催しに加わること樂しいも

のである。それによつて人と人と

のつながりも、地域社会への

会への認識も深まっていくものである。学校

のよい行き方がある。

「腰が痛い」「腕が曲げ

られぬ」と、三日は

こたえることだらうが

「いい日曜日だった」と喜んでゐると思

う。

また後は京都への見

学遠足も計画されてい

る。「善意の集まり」

と喜んでゐると思

う。

ついで、山手中の特色を話して下さい。

「山手中の特色を話して下さい」という質問の答えに

「山中は、そこもみはらしがよく

……」

「山手中のバンドの予算は、いく

……」

「山手中の白い塔の下から眺

めたあの絶景が、なつかしく思ひ

浮ひました。

「山手中のバンドの予算は、いく

……」

「山手中の白い塔の下から眺

めたあの絶景が、なつかしく思ひ

浮ひました。

「山手中の白い塔の下から眺